

## 【静岡なかはら幼稚園】

### ●2023.1.17 ふりかえり(先生 3 名)

先生1:私はちかりんのグループにいたのですが、私ももう1人の先生(先生2)もそこまで虫が得意ではなくて、なんか虫を見つけると、あ、いるねなんて園では話してはいたんですけど、実際にそれを触ってみてっていうのがなかったので、なんか子どもたちに申し訳なかったというか、自分たちがそうだから子どもたちも自然に虫が好きではなくなってくつていうか、やっぱりその経験がないとは思いました。私は、今回参加した年中児とは乳児の頃から2年間持ち上がりで3年目になるんですね。で、どうしてもその前の担任もそこまで虫が得意ではなかったので、虫に触れる機会がすごく少なくて、見て、あついるよっていうのはあるんですけど、そこまでじゃあカブトムシに触ってみようとか、クワガタに触ってみようというのは実際になかったので。もう1人の先生(先生3)は違うところですがすごく長いキャリアをとめたので虫にも詳しくて、その先生と一緒にいけば触れられるというので今年はまだ去年とは違った感じではあったのですが、それでも園庭にはなかなか虫がないので。ダンゴムシやミミズはいるんですけど、ムカデとかはいないし。森に行くと虫がいると、緊張してたりワクワクしてる様子がいつもと違うのが見ててもわかりました。また専門の方々がいらっしゃったので、触り方とかもただ触ってごらんじゃなくて、じゃあ一緒に触ってみようとか、こう手に乗せればいいんだよって、見本みたいに見せてくれたことによって、子どもたちも恐怖心なく、自然に触れられたと思います。

あと、紙にお花を取って、チョークみたいに色を書きたいな。それもなかなか自分の中ではない発想で。今までは生き物を大切にしよう、咲いてる花は取らないよみたいな感じでやってきて、園の花はプランターに植えてあるので、取っちゃいけない。落ちてる葉っぱはいいんですけど。森では生きてる葉っぱとか咲いてる花を採ったので、多分、この子たちにとっても新鮮だったっていうか、園ではできない経験ですごくよかったなって。

—:ありがとうございます。そうだったんですね。実はあの、プログラムが終わった後のスタッフ間のふりかえりのなかでも、スタッフが虫のことを言っていて。ここの園は割と虫を怖がる子が多いね、なんでだろうね、っていう声はあったんです。本当に虫も植物も怖いって子もいたみたいですね。先生のお話を聞いて、それだけ自然に接する機会がないんだろうなっていうのは思いました。今回は草花で遊んだり、生き物と触れ合うっていうことがねらいの1つだったと思うのですが、園に帰ってからはいかがでしたか？

先生1:今までは、誰かが虫がいるって言ったときに、ほかの子はそんなに興味がないっていうか、へーみたいな子が多い感じがしたんですけど、このプログラムが終わってからは寄ってくる子が増えたのかな。すごく長い時間、興味を持っているかって言われちゃうと、まだまだ

なのかなと思うんですけど、一瞬でも何がいるのみたいな感じだったり、その興味の時間は増えたのかなって思ってますね。

—:それは嬉しいですね。

先生1:そこから私たちの関わり方1つで、その興味関心が出て、自分で調べてみたり、自分で実際に触ってみたりすることがもっともっと増えるのかなと思ったので、自分たちも虫に対する努力をしながら、一緒に探してみたりしなきゃいけないのかな、なんては思いました。

—:いや、でもね、なんかお大人はちょっとね、正直怖いじゃないですか。私も怖いのでそんなに触れないですけど、見つけてもわーとかきゃーとか言わないようにだけしてます。見つけてくれる子とか、好きな子がいるので、よく見つけたねっていうところからちょっとずつ広げていけたらいいのかな、なんて思います。

先生2:私はこばちゃんのグループにいて、最初に葉っぱとか落ち葉などをたくさん見つけて、そこからゲームとかをやってくださったんですけど。園にいと、やっぱりそんなに広くない敷地なので、自分たちでどんどん探しに行くとかっていうことがなかったんですけど、森ではどこを見ても、いろんな知らない虫がいたり、いろんな葉っぱや花があって、それを見て子ども達と一緒にいたはずが、どンドンどンドン自分で前に進んでるっていう。なんか、新しいものを見つけていってる姿がすごい見られて。自分がほかの子と外れて前に進んでることに気づいてなくて、本当に夢中になってる子がいたので、今まで経験していなかったことで夢中になるきっかけができたのかなと思います。幼稚園に戻ってきても、今までは自分から探しに行くことがなかった子でも、葉っぱもただの葉っぱじゃなくて、この葉っぱここに穴が開いてて、なんか顔が見えるとか、あとは落ち葉がすごい落ちてくる時期だったので、たくさんの落ち葉を見て、自分のお気に入りの色だったりとかを探して、すごい楽しんでる姿が見られました。

—:あー、それは嬉しいです。ちょっと思い出しましたが、遊木の森でも、綺麗な葉っぱを拾ってとか、虫食いの葉っぱで幽霊に見えるとかってやってましたよね。そこからだんだん広がってったのでしょうか。

先生2:虫もそんなにいないですし採るっているのをあまりしてなくて、虫とり網もそんなに数がないのですが、やりたいっていう子が増えてきて、順番でね、みたいな感じでやっていて。今まで触れてこなかったものに触れて色々興味を持ち始めたのかなと思います。

—:すごい嬉しいです。ありがとうございます。

先生3:私は虫が好きなので、なんか自分もすごく楽しめました。いつも遠足に行くと長い列になっちゃうじゃないですか。先生の近くの子たちは大人目線の見つけたものを見たり、子どもからも先生見つけたよとかってあるんですけど、なかなか後ろの方までそういう声が届かないから後ろは後ろで行ってあげなきゃとか、今度は真ん中の子にとかってなるんですけど。グループに分けたことによって、みんなで情報共有できるし。普段の保育の時には困ったことしか私には言ってくれないような子もずっと話しかけてくれて、ひろじいにもずっと喋ってて、そんな姿見たことがなかったの。やっぱ、自然の中で解放されて、見つけたものとか、怖いものとかも、話してくれたので、すごく嬉しくて。なんか仲良くなれたというか。

虫が嫌いな子なんかは急に好きになったわけじゃないですけど、私が虫を触ったりすると見に来たり、観察ケースではすごく見たがるようになって。触れはしないけど、足が何本もあるっていうことに気づいたりとか。あとは12月に遠足で秋葉山公園に行ったときに、赤い葉っぱを見ると、あれは触っちゃいけない葉っぱなんだよねえとかって教えてもらったことをしっかり覚えて。山登りもなんか足取りがたくましいっていうか、経験があるから自信になってるっていうか。山登るのはカンタンだとか、その崖だって登れるみたいなことを言ったりとか。そういうところでは、山登りに対してこわがらなくなったし、すごく見つけるのとかも上手になったなって思いました。

—:まだ覚えてくれてるんですね。

先生1:今でも言いますよね、遊木の森って。あんまりこう1つの公園の名前をずっと言うってないんですけど、なんか草むらとか入ると遊木の森みたいみたいな感じとかって。秋葉山するときも言っていましたよね。すごく印象に残っていてこちらとしても行ってよかったなって。

先生3:季節が変わって春とかにもね。違う楽しさをね。

—:そう、春もいいですよ～。普段は遠足とか結構出かけたりされるんですか？

先生1:2ヶ月に1回はどこか出かけられるようにはしています。でもあそこまで自然があるところはなかなかなくて、自然のとこに行くっていうよりも、ちょっと遊具があって、ちょっと自然に触れられて、広場があってっていうところを選びがちですね。

—:でも、今日も大根掘りしてお土産に持って帰ってましたし、お正月にはわらでお飾り作ったりっていう体験を普段から大切にされてるとお聞きしました。日頃の積み重ねもあるのでしょね。

—:今回結構 10 月のお忙しいスケジュールの中で来ていただいた感じだと思うんですけど、そのあたりはいかがですか？

先生1:10 月の運動会が終わった次の週に行っていて、一旦落ち着いたところで、次また発表会が 11 月にあるんです。結構運動会も発表会もつめつめの計画になってしまっていて、そこでリフレッシュじゃないですけど、ちょうどよかったのかなって。今回エコエデュにお任せして、人数も分けてやらせてもらって、本当にもうリフレッシュで解放感を感じながらできたのかなって。専門の方に来てもらって、子ども達に自由にやらせてもらって。私達では無理ですよ。

先生3:目的が頂上に行くことになってしまいますよね。目的は頂上、お弁当食べて帰りましょって。

—:それはありがとうございます。確かにそこは結構私たちも心がけています。1グループの人数も今回 9 人ぐらいですかね。自然の中で子ども達 1 人 1 人の興味に合わせてやっているんで、9 人でも多いくらいな感じで、それこそ頂上もみんなで行きたいってなれば行くけど、別に行かなくてもいいし。っていうスタンスを大切にやらせてもらっています。

ありがとうございました。

